

愛知県栄養塩管理検討会議のこれまでと今回の議論について

○会議の目的

2022 年度から 2 年間の下水道処理施設の栄養塩管理運転（社会実験）の結果を検証し、その結果を踏まえた今後の方向性を検討するとともに、海域ごとの漁業生産に必要な栄養塩濃度の提案や管理方策など、漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方を検討する。

○会議の検討事項

＜社会実験＞

- ・2022 年度から 2 年間の下水道処理施設の栄養塩管理運転（社会実験）の結果を検証するための検証方法、評価の基準の検討
- ・社会実験のノリ・アサリへの効果、水質への影響の有無の検証
- ・社会実験の結果を踏まえた今後の方向性の検討

＜栄養塩管理のあり方＞

- ・海域ごとの漁業生産に必要な栄養塩濃度の提案や管理方策など、漁業生産に必要な望ましい栄養塩管理のあり方の検討

○これまでの経過と今回の検討事項

第 1 回愛知県栄養塩管理検討会議（2022 年 10 月 24 日）

＜社会実験＞

- ・伊勢湾・三河湾の栄養塩の現状とこれまでの取組等
- ・水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の検証について

社会実験に至る経過を踏まえ、社会実験の実施方法や調査方法等について、検討を行った。

第 2 回愛知県栄養塩管理検討会議（2023 年 6 月 26 日）

＜社会実験＞

- ・2017 年度から実施したリン増加試験運転について
- ・2022 年度水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の実施結果について

2017 年度から 5 年間実施したリン増加試験運転及び 2022 年度に実施した社会実験について、結果の検証を行った。

第 3 回愛知県栄養塩管理検討会議（2024 年 2 月 9 日）

＜社会実験＞

- ・2023 年度水質の保全と「豊かな海」の両立に向けた社会実験の中間報告について
- ・2022 年度社会実験の数値シミュレーションについて

＜栄養塩管理のあり方＞

- ・漁業生産に必要な栄養塩濃度について

社会実験の検証として、2023 年度社会実験の中間報告を行うとともに、数値シミュレーションについて、その実施方法及び 2022 年度社会実験の計算結果を検証する。

また、栄養塩管理のあり方検討として、三河湾における漁業生産に必要な栄養塩濃度を検討する。この考え方を元に、次のステップ（第 4 回会議以降）で望ましい栄養塩管理のあり方（管理方策）について検討する。